



デバイス設定への
容易なアクセス

ハウツーガイド

1.4

オートトラッキングを設定する

AXIS Optimizer for Milestone XProtect®

AXIS[®]
COMMUNICATIONS

手順：

オートトラッキングを設定する

AXIS Optimizerオートトラッキングでは、追跡する物体を手動で選択できるほか、デバイスが移動する物体を自動的に検知できるようにするトリガーエリアの設定も可能です。これにより、オートトラッキングに関連する管理者の作業（除外エリアの設定や構成、動体感度レベル、エリアのパン・チルト制限など）が合理化されます。

要件

以下のいずれかを選択してインストールします。

- Milestone XProtect Expert 2017 R3以降 (Cコードライセンスが必要)
- Milestone XProtect Corporate 2017 R3以降 (Cコードライセンスが必要)
- Management Clientに最新バージョンのAXIS Optimizerをインストールします。
- 1つ以上のAxisカメラ対応オートトラッキング
- Management Clientとイベントでメタデータを有効にすると、メタデータストリームが有効になります。

録画サーバーにオートトラッキングを追加する

1. Management Clientで、**Autotracking 2.0 (オートトラッキング2.0)** に対応したカメラを録画サーバーに追加します。
2. カメラとメタデータデバイスが有効になっていることを確認します。
3. カメラのメタデータ1を選択し、**[Settings (設定)]** をクリックします。
4. **[Metadata stream (メタデータストリーム)]** → **[Event data (イベントデータ)]** に移動し、**[Yes (はい)]** を選択します。
5. **[Save (保存)]** をクリックします。
6. Autotracking 2アプリケーションが起動したことを確認します。
 - a. Management Clientで、**[AXIS Camera Assistant]** に移動し、カメラを選択します。
 - b. **[Settings (設定)]** → **[Apps (アプリ)]** → **[axis-ptz-autotracking]** に移動します。アプリケーションがオフになっている場合は、起動します。

ゾーンとプロファイルを設定する

1. Management Clientで、**[AXIS Camera Assistant]** に移動し、カメラを選択します。
2. **[Settings (設定)]** → **[Profiles (プロファイル)]** に移動します。
3. **+** をクリックします。
4. 名前を入力し、プロファイルのプリセットポジションを選択して、**[Done (完了)]** をクリックします。トリガーエリアに黄色いボックスが表示されます。
5. トリガーエリアを移動するには、エリア内をクリックしてドラッグします。トリガーエリアのサイズや形状を変更するには、アンカーポイントをクリックしてドラッグします。

オートトラッキングをオン/オフにする

1. Smart Clientで**オペレーターコントロール**のシンボルをクリックします。
2. **[Turn on autotracking (オートトラッキングをオンにする)]** または **[Turn off autotracking (オートトラッキングをオフにする)]** を選択します。

手動でオートトラッキングを開始する

マウスでカーソルを物体の上、または近くに置くと、オーバーレイが塗りつぶされます。物体をマウスポインターで右クリックすると、その物体がターゲットとして設定され、カメラがターゲットとなる物体の追跡を開始します。物体を追跡できなくなると、カメラは5秒後にリセットされます。

使用開始のサポート資料

AXIS Optimizerハウツービデオを視聴する

オンラインユーザーマニュアルを見る

その他のハウツーガイドをダウンロードする

AXIS Optimizer使用開始ガイドを読む

特定の作業に対するステップバイステップのワークフローは、変更される場合があります。最新の説明については、[オンラインユーザーマニュアル](#)を参照してください。

デバイス設定に アクセスする時間 と労力を削減

オートトラッキングは、カメラの視野内の動きを検知し、その動き（人物や車両など）が監視エリアから消えるまで追跡する一般的な機能です。カメラは動きに追従して自動的にパンとチルトを行い、視野内で同時に多くの動きがある場合は、動きの最も多いエリアを監視します。この機能が有効になっていて、視野内で動いている物体がない場合、カメラは「ホーム」ポジションに戻ります。オートトラッキングは影や風で揺れる木々などでトリガーされることが多いため、効果的なオートトラッキングを確保することは非常に困難です。そのため、特定のケースごとにシーンのダイナミクスと状況に基づいて機能を設定することが推奨されます。ただし、オートトラッキングの設定にはかなりの時間を要する場合があります。

AXIS Optimizerがこの問題をどう解決するか

AXIS Optimizerオートトラッキングでは、追跡する物体を手動で選択できるほか、デバイスが移動する物体を自動的に検知できるようにするトリガーエリアの設定も可能です。管理者は、Management Clientでトリガーエリアとその他すべての設定と構成の詳細を効率的に設定し、カメラの向きとズームレベルを自動的に追跡および制御して、ビューを最適化できます。

AXIS Optimizer for Milestone XProtectについて

AXIS Optimizerは、Milestone XProtectにおけるAxisデバイスのパフォーマンスを最適化する統合のスイートです。すべてのユーザーがAxisとMilestoneのシステムを最大限に活用しながら、時間と労力を大幅に削減することができます。新しいAxis製品に対応できるように継続的に更新されます。更新版は、axis.comからワンタイムインストーラーとして無料でご利用いただけます。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティとビジネスパフォーマンスを向上させるソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークテクノロジー企業として、また業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連するソリューションを提供しています。これらのソリューションは、インテリジェントアプリケーションによって強化され、質の高いトレーニングによってサポートされています。

Axisは50ヶ国以上に4,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のテクノロジーパートナーやシステムインテグレーションパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、本社はスウェーデン・ルンドにあります。